

癒やし、心の安寧を求めて

日韓 新しい交流の旅

韓国三十三観音聖地巡り



慶尚北道の20番「直指寺」



三十三観音聖地巡り略図

寺のほか、同じ慶尚北道の仏国寺、慶尚南道の海印寺と通度寺。標高1400mにある海印寺では、「八万大蔵経」と呼ばれる経典や戒律を集大成した8万枚以上の印刷用木版（国宝、世界遺産）の書庫を見ることが出来る。刻まれた漢字の数は5000万字以上というから驚きだ。

韓国の寺の雰囲気は日本の寺に通じるところもあるが、趣の異なるところもある。門や屋根に朱や緑の極彩色がふんだんに施されているのは一例だ。大きな特色は直指寺や海印寺のように山奥に伽藍を構えている寺が多いこと。李氏朝鮮の時代（1392～1910）に仏教が排斥されたため僧侶が山へ逃げ込んだためだといふ。

「心の安らぎ」を求めて始まった日韓の新しい交流の形。ひとときとはいえ、下界のことを忘れて我が心と向き合う時間。両国間の歴史を改めて考えるよすがにもなるし、今まで気がつかなかったことを知るきっかけにもなるだろう。

軽く拳を握り、両親指の先が離れないようにする。背筋を真っすぐに伸ばし、視線は前方、45度下に落とす。したま動かさない。目を見開かず、うすうすと半目の状態を保つ。

座禅の基本的な作法。何事にもあわただしさがつきまとう日常生活から遊離して、見失いかけていた自分の姿がみえてくるような気がするから不思議だ。

* 韓国中部、慶尚北道は金泉市の山懐にある黄岳山直指寺。「心の安らぎ」をキマツチフレースとして、韓国観光公社が企画した「韓国三十三観音聖地巡礼ツアー」に、主に九州各地から

日本人107人が参加した。一晚を寺の作法に従って寺で過ごす「テンプルスデー」がツアーの売り物だ。「この世の中で一番大切なのは自分を愛する心です。自分を大事にすることで、人を愛することも出来るのです」と、直指寺の僧侶の声が大講堂に響く。確かに最近の日本、自暴自棄の心が引き起こしてしまつて、罪が後を絶たない。「自分を愛しなさい」と言われたら、人も安らぎ、ひいては社会も安らぐだろう。

*

日本には、弘法大師の霊場を巡る四国八十八か所や三十三観音を巡る九州西国霊場など、全国各地に巡礼

地がある。韓国には歴史的にそれがなかった。日本の仏教は538年に百済からもたらされて広まったが、今回のツアーは日本の巡礼地巡りの文化を「逆輸出」して、互いの仏教文化に触れようという趣旨。韓国仏教文化事業団にも受け入れられ、直指寺を含む三十三の名刹が「聖地」として指定されたのだ。

*

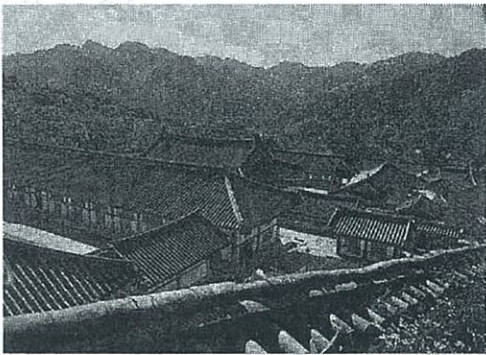
テンプルスデーで体験できるのは座禅だけにとどまらない。針灸供養と呼ばれる精進料理の食事では、茶の飲み方や天水という水の使い方を学べるし、午前3時に起床した後の礼仏では、木魚の音に合わせて、ひざまずいた立ち上がったりする動作を繰り返して行う呼吸も学べる。

佐賀県から参加した森勇吉さん（81）は言う。「今までに四国八十八か所の半分ぐらいは回ったし、北海道や高野山にも行った。巡



開創ツアーで慶尚南道23番「仏国寺」に参拝する参加者

見失いかけていた自分の姿がみえてくる



慶尚南道の19番「海印寺」◎と同寺に収められている世界遺産「八万大蔵経」◎



ツアーの一行が二泊三日の日程で訪れたのは、直指寺。

「心の安らぎ」を求めて始まった日韓の新しい交流の形。ひとときとはいえ、下界のことを忘れて我が心と向き合う時間。両国間の歴史を改めて考えるよすがにもなるし、今まで気がつかなかったことを知るきっかけにもなるだろう。

*

お問い合わせ先・韓の国観音聖地推進事務局 電話092-716-0091
E-mail korea33kannon@wind.ocn.ne.jp
・韓国観光公社福岡支社 電話092-471-7174